

京都障害者スポーツ振興会30周年記念事業

京都の障害者スポーツ実態調査（利用者編）

テーマ：21世紀の京都の障害者スポーツを創る

日頃は京都障害者スポーツ振興会の活動にご協力ありがとうございます。

本年、発会30周年を迎える京都障害者スポーツ振興会が、30周年記念事業のひとつとして「京都の障害者スポーツ実態調査（テーマ：21世紀の京都の障害者スポーツを創る）」を実施することになりました。

この数年を振り返ってみると「長野パラリンピック」から「シドニーパラリンピック」での選手の活躍。そして、本年から全国身体障害者スポーツ大会とゆうあいピックが統合され第1回全国障害者スポーツ大会「翔く新世紀みやぎ大会」が、開催されるなど障害者スポーツへの人々の関心は高まる一方に思われます。

発会以来30年、京都障害者スポーツ振興会は「スポーツの高度化を目指す事業（より高いレベルに向けての競技力の向上）」と「スポーツの輪を広げる事業（すべての障害のある人にスポーツの喜びを）」を取り組み、障害者スポーツの高度化と一般化へのサポートをあらゆる場面で進めてまいりました。

京都障害者スポーツ振興会は、21世紀も今まで取り組んできた事業をさらに幅広く育てていくことが基本です。しかし、今、障害のある人がスポーツを楽しめる環境づくりには何が大切なのでしょうか。地域に根ざしたスポーツ情報を提供できるシステムやそのサポート体制はあるのでしょうか。京都の現状を調査し「今」を見据える中から京都の障害者スポーツの今後を考え、21世紀の京都の障害者スポーツを皆様とともに創り出していきたいと思えます。

つきましては、ご多忙中のところ、おそれいりますが、アンケート調査にご協力お願いいたします。

尚、今回の調査は 利用者編 ボランティア編 京都府下の体育施設・各自治体・各障害者団体編 の3部構成で実施させていただきます。また調査結果につきましては記念誌でご報告させていただきますとともに、いろいろな方法でお知らせする予定です。

*記入上の注意

- ・当てはまる項目の数字に を当てはまるものがないときはその他にお書きください。

アンケートの対象（利用者編・ボランティア編）

このアンケートは下記の場合でとらせていただいたもので、アンケートの集計についてはそれぞれの障害者スポーツごとに表現しています。

記			
1. 「第343回障害者スポーツのつどい」	2001年7月8日（日）	京都府立体育館	
「第344回障害者スポーツのつどい」	2001年8月12日（日）	〃	
2. 「第21回全京都障害者総合スポーツ大会卓球バレー大会」	2001年6月17日（日）	〃	
3. 車いすバスケット（UPS「アップス」）練習会	2001年9月	京都市川北リハビリテーションセンター	
4. 車いす駅伝（京都ステイヤーズ）練習会	2001年9月	桂川河川敷？	
5. シンクロナイズドスイミング（コスモス）練習会	2001年9月	京都市障害者スポーツセンター	
〃（セーラムーン）練習会	2001年9月	〃	
6. 第1回全国障害者スポーツ大会			
京都府京都市選手強化練習会	2001年9月	〃	ほか

凡例：つどい	障害者スポーツのつどい
卓バレ	卓球バレー
バスケット	車いすバスケットボール
駅伝	車いす駅伝
シンクロ	障害者シンクロナイズドスイミング
全スポ	全国障害者スポーツ大会

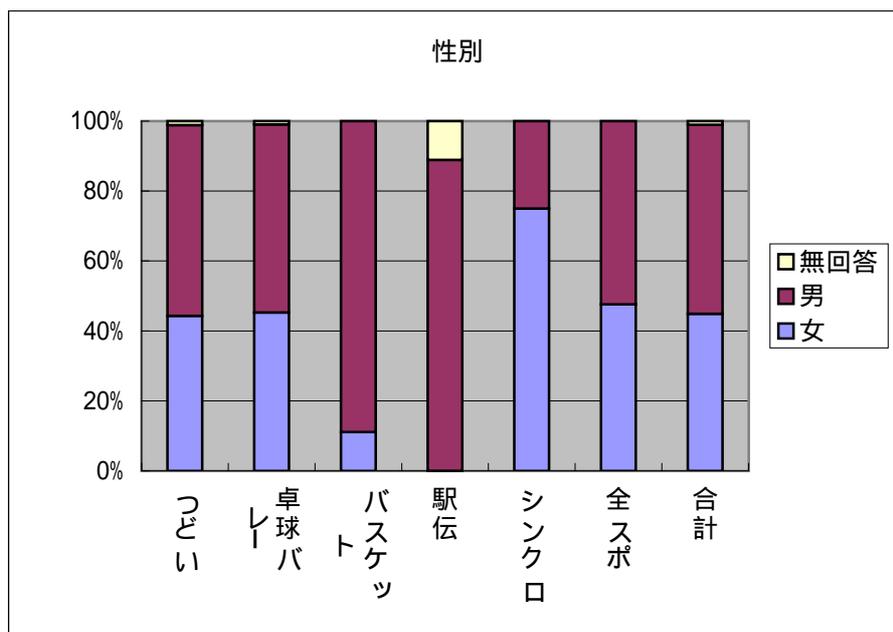
京都の障害者スポーツ実態調査（利用者編）

1. 性別は

女性

男性

設問1	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
女	39	44.3%	279	45.4%	1	11.1%	0	0.0%	12	75.0%	10	47.6%	341	45.0%
男	48	54.5%	331	53.8%	8	88.9%	8	88.9%	4	25.0%	11	52.4%	410	54.1%
無回答	1	1.1%	6	1.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.1%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%



事実

- 1 : つどいは 男性55%、卓球バレーは 男性54%とやや男性が多かった。
- 2 : バスケット・駅伝はほとんど男性であった。
- 3 : シンクロに25%の男性の参加があった。
- 4 : 全スポはほぼ同数であった。
- 5 : 全体では男性が54%でやや多い。

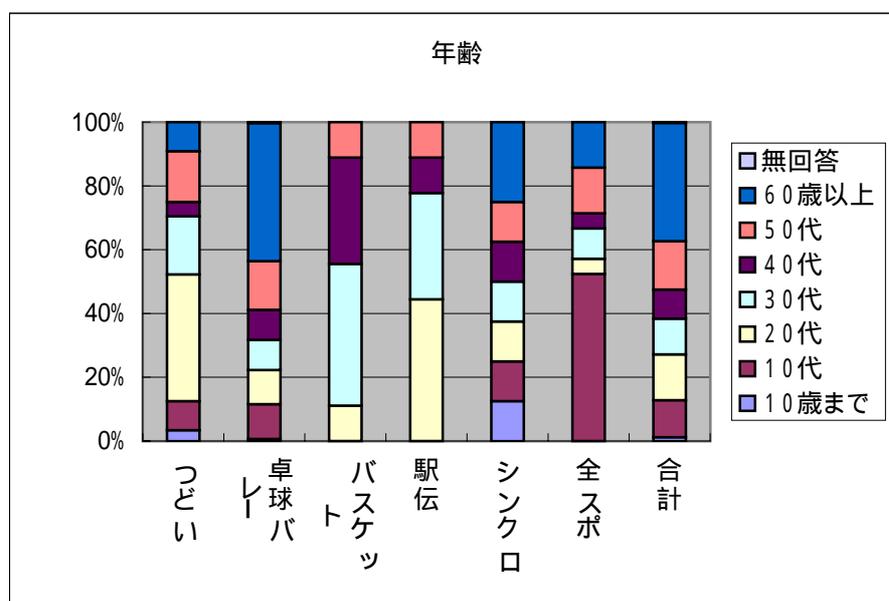
問1の全体を通して

1. 種目によって男女比はちがうが、全体を通すと男性がやや多い。

2. 年齢は

10歳まで 10代 20代 30代
40代 50代 60歳以上

設問2	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
10歳まで	3	3.4%	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	9	1.2%
10代	8	9.1%	67	10.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	11	52.4%	88	11.6%
20代	35	39.8%	66	10.7%	1	11.1%	4	44.4%	2	12.5%	1	4.8%	109	14.4%
30代	16	18.2%	58	9.4%	4	44.4%	3	33.3%	2	12.5%	2	9.5%	85	11.2%
40代	4	4.5%	58	9.4%	3	33.3%	1	11.1%	2	12.5%	1	4.8%	69	9.1%
50代	14	15.9%	94	15.3%	1	11.1%	1	11.1%	2	12.5%	3	14.3%	115	15.2%
60歳以上	8	9.1%	266	43.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	25.0%	3	14.3%	281	37.1%
無回答	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%



事実

- 1 : つどいは 20代が最も多く、ついで 30代 50代である。
- 2 : 卓球バレーは 60歳以上が最も多く、ついで 50代である。
- 3 : バスケットは 30代 40代で78%をしめ、駅伝は 20代 30代で78%をしめた。
- 4 : シンクロは 60歳以上が25%と最も多かったが、各年齢層に平均して散らばっていた。
- 5 : 全スポは 10代が最も多かったが、知的障害(療育)の青年層である。
- 6 : 全体では 60歳以上が37%と最も多く、次いで 50代の15%、20代の14%と続く。

問2の全体を通して

- 1 . 卓球バレー・シンクロは60歳代が最も多い。これは「高齢の障害者にもスポーツをする機会を増やしたい。」という京都のねがいが実った結果として数字に表れていると考えられる。
- 2 . つどい・卓球バレー・シンクロは、10歳まで～60歳以上まであらゆる年齢の利用者がある。これは「幅広い年齢層の障害者がスポーツを楽しむ機会を増やしたい。」という京都のねがいが実った結果として数字に表れていると考えられる。

3. 障害はありますか。

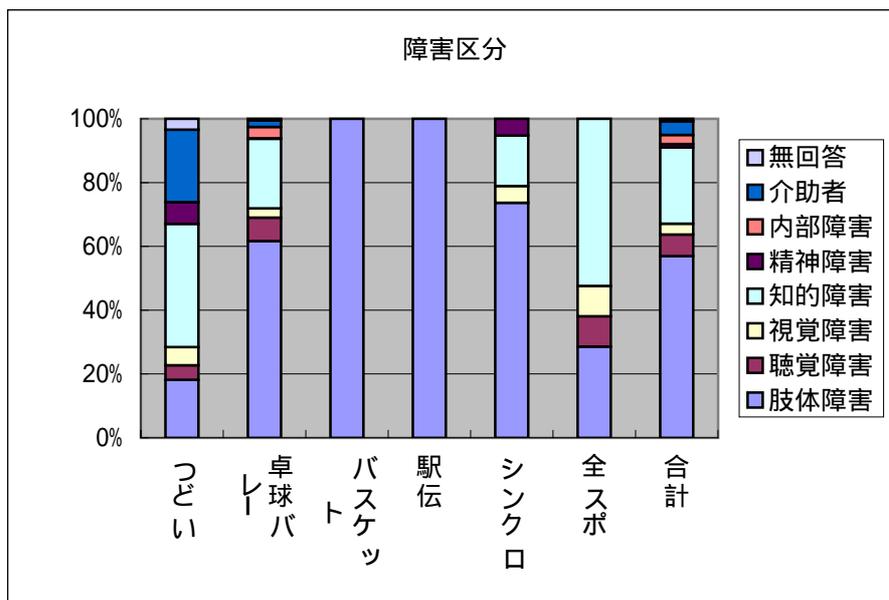
肢体障害
精神障害

聴覚障害
内部障害

視覚障害
介助者（家族・付き添いボランティアなど）

知的障害（療育）

設問3	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
肢体障害	16	18.2%	384	62.4%	9	100.0%	9	100.0%	14	87.5%	6	28.6%	438	57.8%
聴覚障害	4	4.5%	46	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	52	6.9%
視覚障害	5	5.7%	18	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	2	9.5%	26	3.4%
知的障害	34	38.6%	136	22.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	18.8%	11	52.4%	184	24.3%
精神障害	6	6.8%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	8	1.1%
内部障害	0	0.0%	22	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	22	2.9%
介助者	20	22.7%	13	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	33	4.4%
無回答	3	3.4%	3	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.8%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%

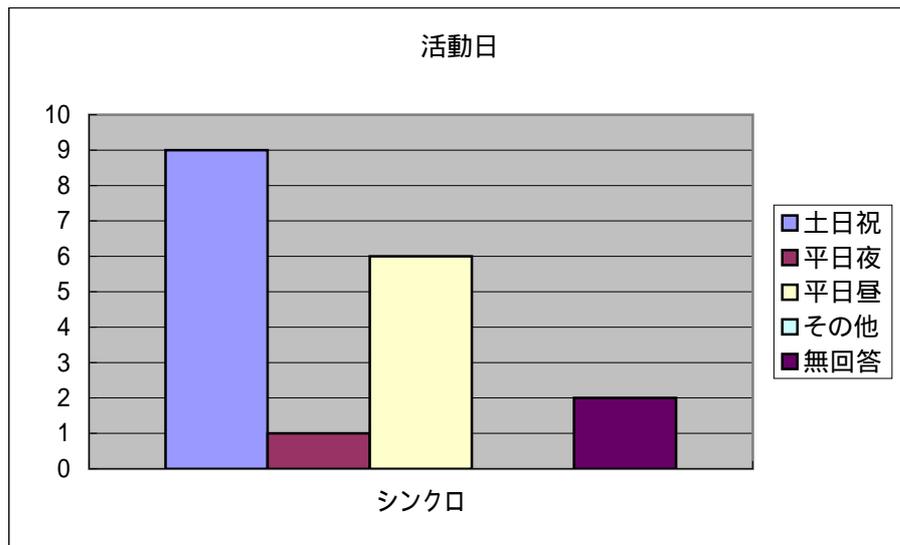
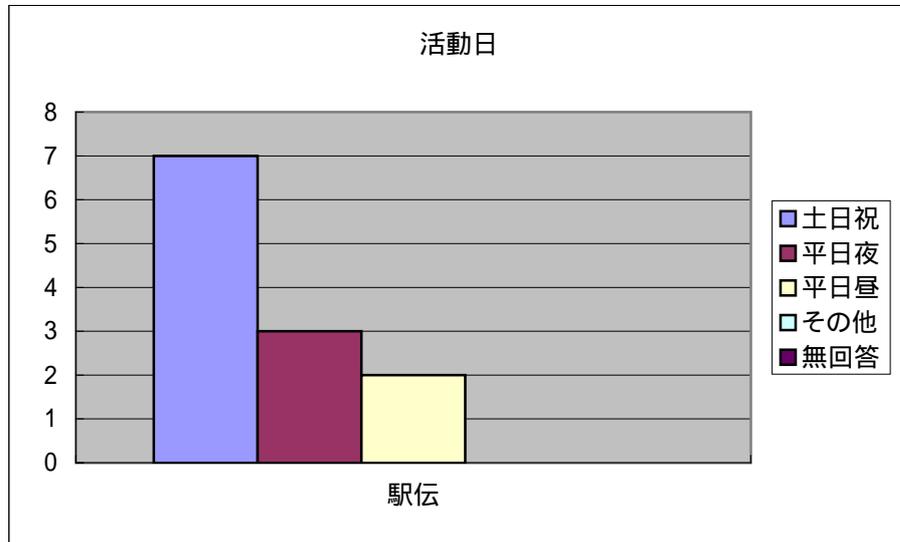
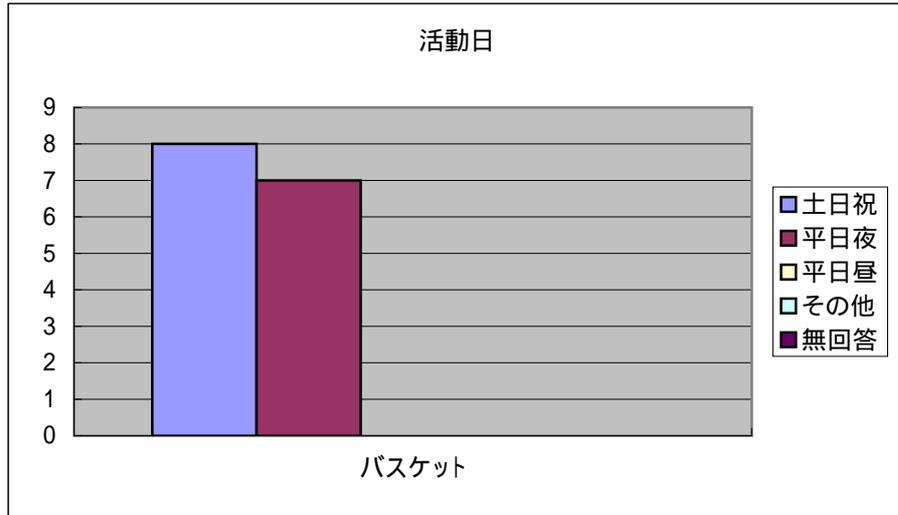


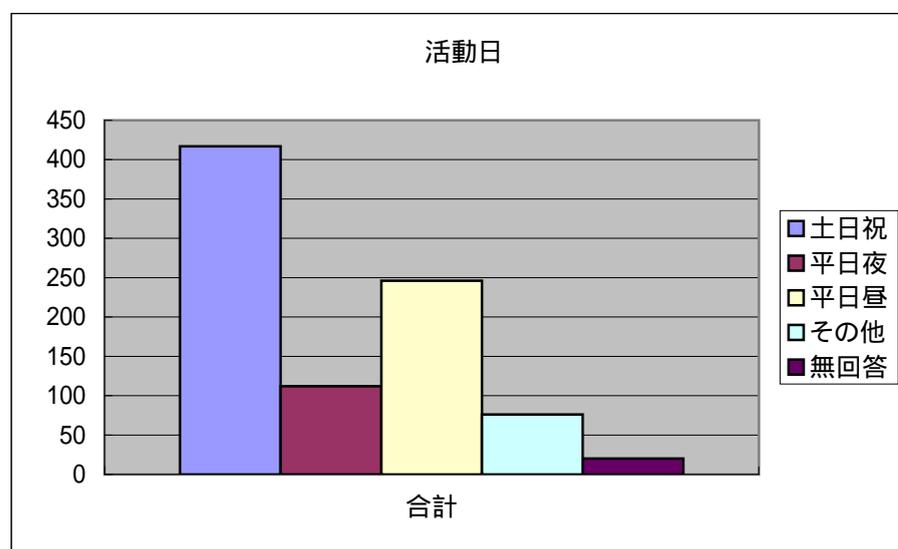
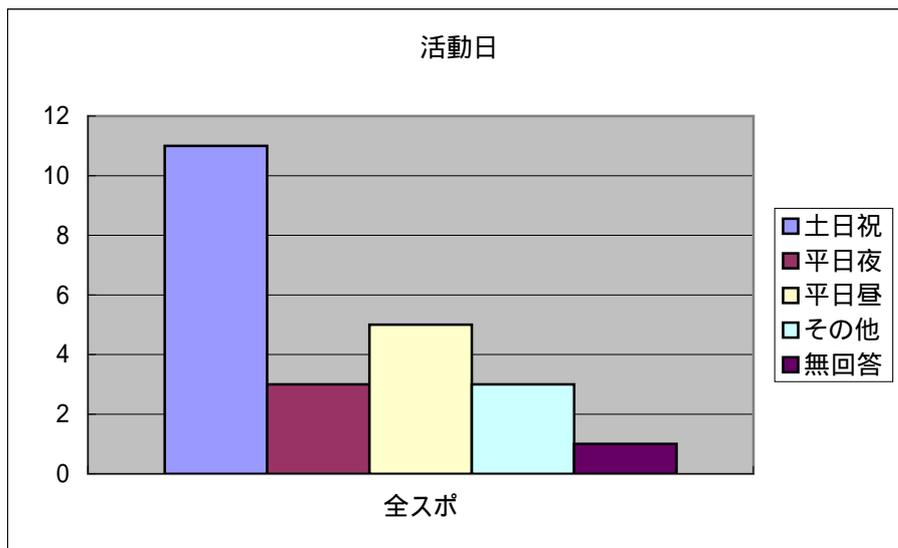
事実

- 1 : つどいは 知的障害（療育）が最も多く39%ついで 介助者（家族・付き添いボランティアなど）25% 肢体障害18%
- 2 : 卓球バレーは 肢体障害62%と最も多く。ついで 知的障害（療育）22% は青年層が多いか？ 聴覚障害7%は意外と多かった。中高年層か？
- 3 : バスケット・駅伝はすべて 肢体障害。
- 4 : シンクロは 肢体障害88%がほとんどで 知的障害（療育）19%とまだまだ少ない状況である。
- 5 : 全スポ選手は回答してくださったのが 知的障害（療育）52%であり他の障害の方の回収率が悪かった。

問3の全体を通して

- 1 . 知的障害者のスポーツの利用は、まだまだ少ない。障害者全体の中で知的障害者の占める割合に比して、スポーツ利用者の中で知的障害者の占める割合が約4分の1である。その中で「つどい」で約4割が知的障害者であることは、「つどい」が知的障害者にとって利用しやすい場であると考えられるのではないだろうか。
- 2 . 精神障害者の利用もまだまだ少ない。その中で「つどい」で6.8%の利用があるということは、精神障害者にとっても「つどい」は利用しやすい場であると考えられるのではないだろうか。
- 3 . 介助者が「つどい」に多いのは、介助者が必要な利用者が多いことと介助者も楽しむ取り組みとしての「つどい」の存在もあると考えられるのではないだろうか。





事実

- 1 : つどいは 土日祝日 78%とほとんどであった。
- 2 : 卓球バレーは 土日祝日 51%と約半数であるが、 平日昼 36%である。
- 3 : バスケットや駅伝はほとんど 土日祝日 平日夜である。
- 4 : シンクロは 土日祝日 56%で半数以上をしめるが、 平日昼 38%である。
- 5 : 全スポ選手は 土日祝日 52%で半数以上をしめる。
- 6 : 全体では、 土日祝日が 55%と半数以上である。 平日昼の 32%である。

問4の全体を通して

- 1 . 卓球バレーやシンクロでは3人に1人が 平日昼にスポーツをされる。これは作業所や施設であるいは退職や子育てが一段落してスポーツを楽しむ人が多いからと考えられる。
- 2 . 土日にスポーツを楽しむ人が圧倒的に多いが平日の昼や夜にスポーツを楽しむ人も結構多い。平日にもスポーツを楽しめる環境ができつつあると考えられる。

問5の全体を通して

1. 「つどい」は約3分の1が月1回のスポーツである。これは月1回開催の「つどい」以外のスポーツの機会がほとんどないと考えられる。また、また年1~10回の人を加えて月1回以下の人が約半数あり、まだまだスポーツが日常楽しめていない人が多い。これは「つどい」が利用者にとってかけがえのない存在であるという意義深い取り組みであると同時に、「つどい」なら楽しめるといふ人の日常のスポーツ場面を作っていくことが必要だと考えられる。
2. バスケット・駅伝は、週2回から毎日がほとんどである。シンクロは、月3回から週2回がほとんどである。これらの種目に取り組む人は、ほぼ生活にスポーツが定着していると考えられる。
3. 卓球バレーは、5人に2人は週1~2回で生活に定着しているといえる。しかしながら、5人に1人は年2~5回で大会前だけといえる。もう少し日常楽しめればと考える。スポーツを楽しむ日がなし27人、大会前のみ7人がおられるのが気になる。大会以外にスポーツの機会がないというのはスポーツの日常化を目指す上で条件の整備など何とかしていきたい人々である。

6. 現在どんなスポーツを楽しんでいますか(いくつ答えてもらってもかまいません)。
- いろいろなスポーツ(障害者スポーツのつどい等のもの) 卓球バレー
 卓球 水泳 陸上競技 アーチェリー
 シンクロイストスイミング 車いすハンドボール 車いす駅伝(車いすマラソンを含む)
 ゴールボール ボッチャ ボウリング フライングディスク
 バスケット バレーボール(シッティングバレーを含む)
 マラソン カヌー テニス スキー
 その他()

その他
(つどい)

バドミントン7、野球4、トランポリン3、ジョギング2、トレーニング2、スノーボード、車いすラグビー、山登り、サイクリング、サッカー、風船バレー

(卓球バレー)

ゲートボール13、グランドゴルフ21、ジョギング15、ローラーブレイド9、ツインバスケット7、ウォーキング9、ソフトボール10、風船バレー5、ペタンク4、野球4、サッカー2、特になし4、バドミントン2、ハードゴルフ2、パターゴルフ1、車いすダンス2、車いすフェンシング1、車いすテニス1、クリケット2、スキューバダイビング2、ビームライフル1、キャッチボール1、ビリヤード1、ゴルフ観戦1、スポーツジム1、健康のためにスポーツしたい1、ビリヤード1、スケート1

(バスケット)

フェンシング

(シンクロ)

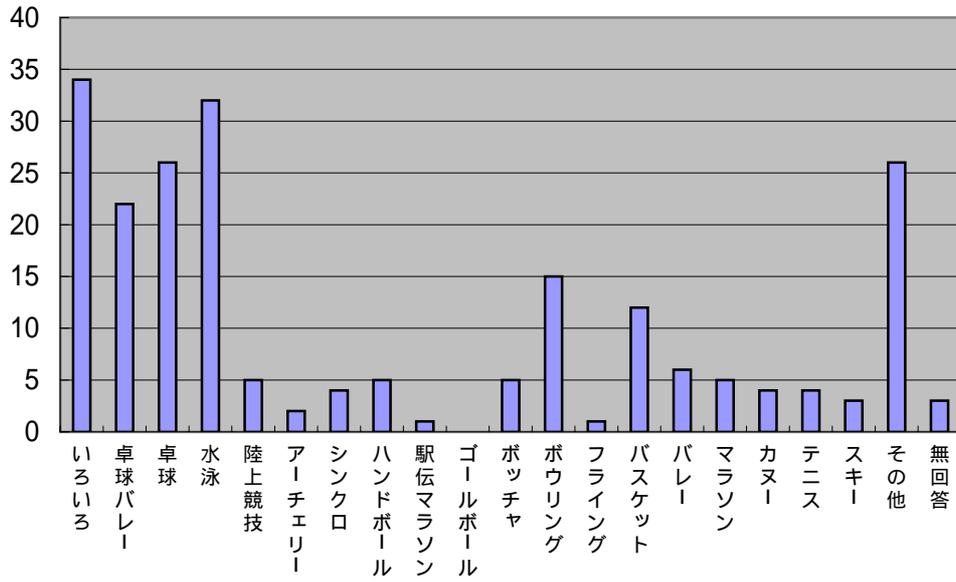
パターゴルフ

(全スポ)

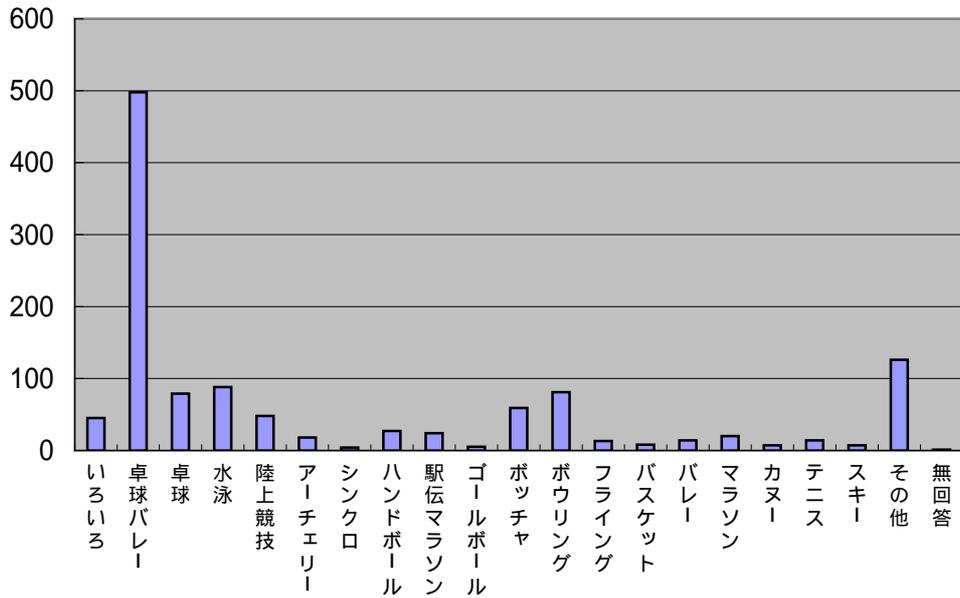
スケート、ウォーキング、山登り、軽スポーツ、ランニング、サッカー、グランドゴルフ、フロアバレー、ゴールボール、野球、ソフトボール

設問6	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
いろいろ	34	38.6%	45	7.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	81	10.7%
卓球バレー	22	25.0%	498	81.0%	0	0.0%	1	11.1%	3	18.8%	4	19.0%	528	69.7%
卓球	26	29.5%	79	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	38.1%	113	14.9%
水泳	32	36.4%	88	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	8	50.0%	8	38.1%	136	17.9%
陸上競技	5	5.7%	48	7.8%	0	0.0%	4	44.4%	0	0.0%	4	19.0%	61	8.0%
アーチェリー	2	2.3%	18	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	20	2.6%
シンクロ	4	4.5%	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	93.8%	0	0.0%	23	3.0%
ハンドボール	5	5.7%	27	4.4%	1	11.1%	2	22.2%	2	12.5%	2	9.5%	39	5.1%
駅伝マラソン	1	1.1%	24	3.9%	0	0.0%	8	88.9%	0	0.0%	2	9.5%	35	4.6%
ゴールボール	0	0.0%	5	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.7%
ボッチャ	5	5.7%	59	9.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	1	4.8%	66	8.7%
ボウリング	15	17.0%	81	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	28.6%	102	13.5%
フライング	1	1.1%	13	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	38.1%	22	2.9%
バスケット	12	13.6%	8	1.3%	8	88.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%	32	4.2%
バレー	6	6.8%	14	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%	24	3.2%
マラソン	5	5.7%	20	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%	29	3.8%
カヌー	4	4.5%	7	1.1%	1	11.1%	0	0.0%	1	6.3%	1	4.8%	14	1.8%
テニス	4	4.5%	14	2.3%	1	11.1%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	20	2.6%
スキー	3	3.4%	7	1.1%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	28.6%	17	2.2%
その他	26	29.5%	126	20.5%	1	11.1%	0	0.0%	1	6.3%	12	57.1%	166	21.9%
無回答	3	3.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.5%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%

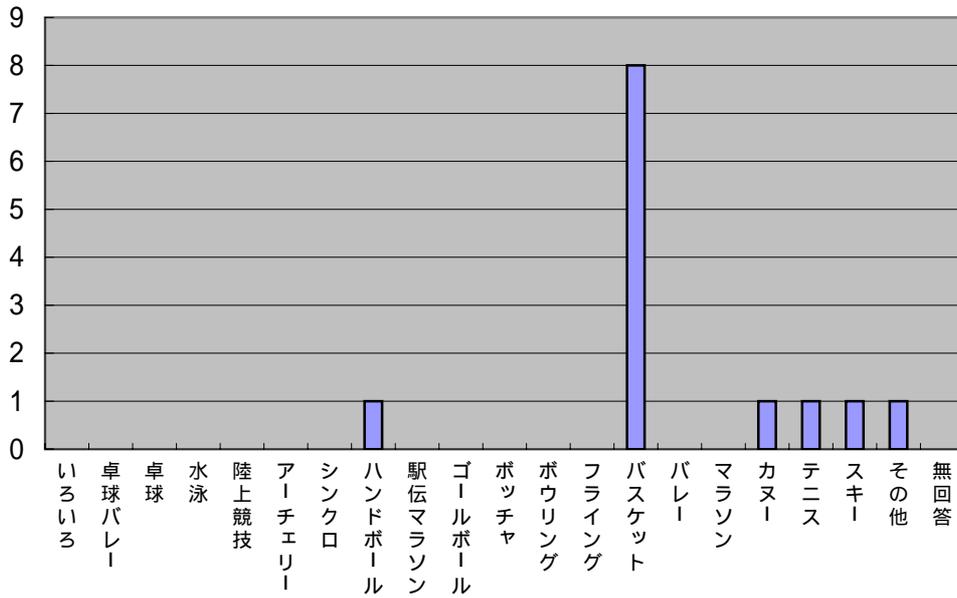
つどい



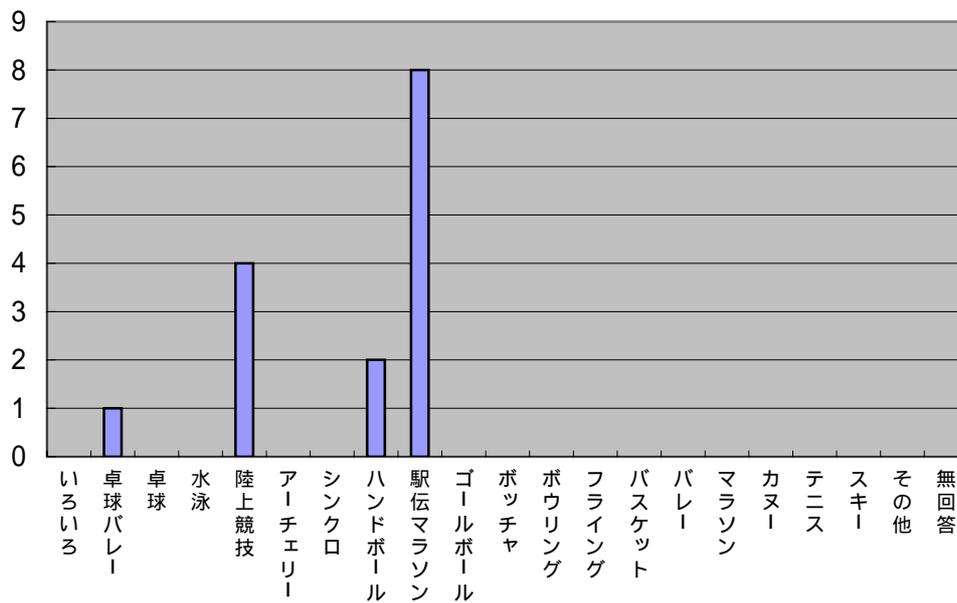
卓球バレー



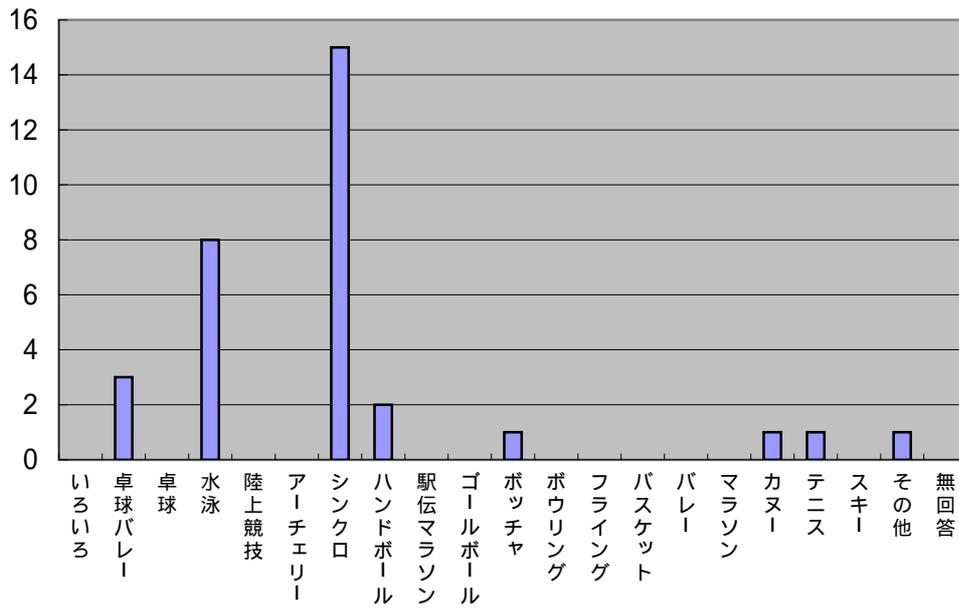
バスケット



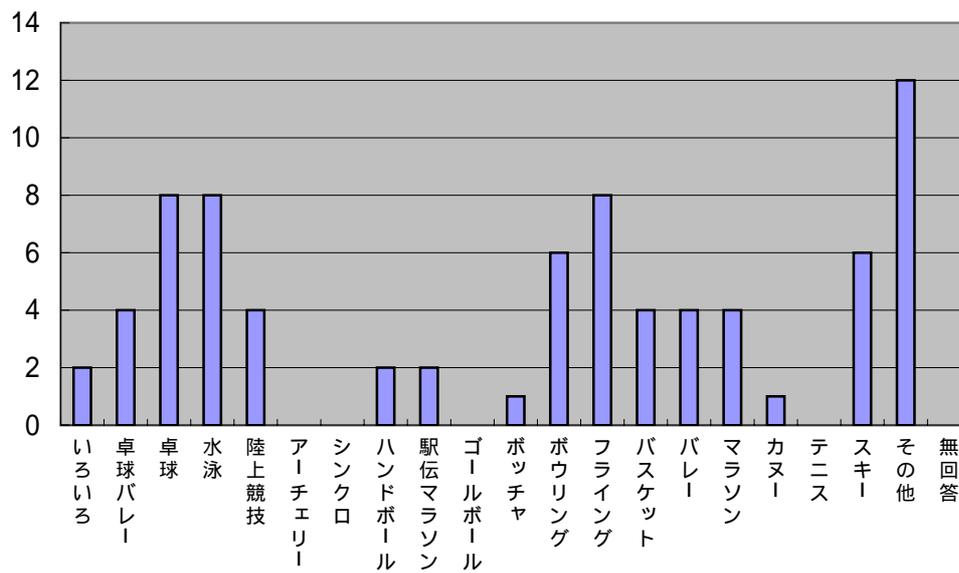
駅伝

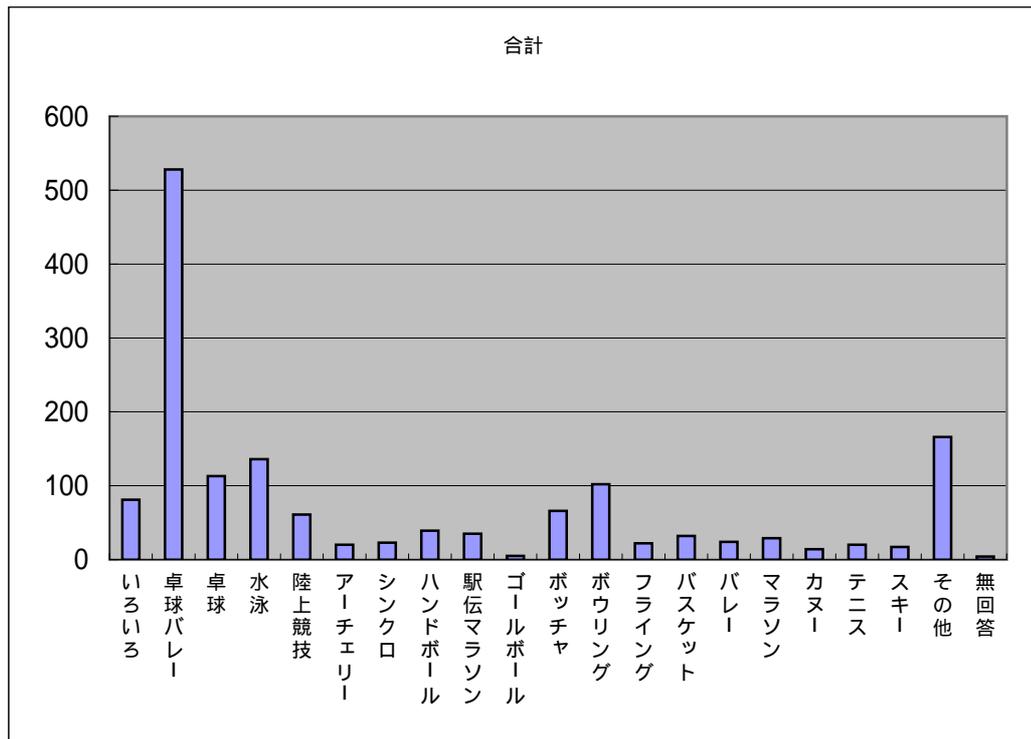


シンクロ



全スポ





事実

- 1 : つどいでは いろいろなスポーツ(つどい等のもの) 水泳 卓球 卓球バレーと多い。つどいにある種目には根強い人気があると同時に 水泳を楽しむ人が36%もおられた。
- 2 : 卓球バレーではやはり 卓球バレーが81%と最も多い。次いで 水泳14% ボウリング13%、卓球13%、ポッチャ10%、陸上競技8%、いろいろなスポーツ(つどい等のもの)7%幅広くいろいろな種目になじんでおられます。10人に1人がポッチャ10%を楽しんでおられるのはポッチャの普及が徐々になされているのを示すようです。
- 3 : バスケット・駅伝・シンクロの選手はその種目を深められているようで他の種目はあまりやられていないようです。
- 4 : 全スポの選手は自分の種目以外にも幅広くいろいろな種目をやられているようです。
- 5 : 全体的には卓球バレーの選手とほぼ同じ傾向のようです。

問6の全体を通して

- 1 . 「つどい」利用者は、「つどい」にあるバドミントン・卓球バレーのほかにも「つどい」にはないグランドゴルフ・ゲートボール・ジョギングなど他の種目も楽しんでおられる方がおられた。
- 2 . 全スポ選手・卓球バレー選手は、幅広くいろいろな種目になじんでおられます。10人に1人がポッチャを楽しんでおられるのはポッチャの普及が徐々になされているのを示すようです。
- 3 . バスケット・駅伝・シンクロの選手は、その種目を深められているようで他の種目はあまりやられていないようです。

7. スポーツを始めたきっかけは何ですか（いくつ答えてもらってもかまいません）。

- 家族・友人からさそわれて、連れて行ってもらう。
- 家族・友人にあることや場所を教えてもらう。
- 障害者福祉のテレビや新聞記事を見てやってみようと思った。
- 障害者スポーツを見てやってみようかと思った。
- スポーツを楽しみたいと思った。
- スポーツを指導してほしいと思った。
- 私にも何かできないかと思った。
- 友人がほしかった。
- 学校・作業所・病院で紹介してもらって。
- その他。（

）

その他

（つどい）

介助で、中学のクラブから、サークル活動、リハビリを兼ねて

（卓球バレー）

健常者の時から1、ディサービスで1、施設内で1、障害者団体に入ってから7、障害者の仕事についてから1、からだを動かすことが好きだから1、体力づくり2、障害の改善1、水泳を指導されて楽しかったから1、記入無1

（バスケット）

リハビリの先生に勧められて

（駅伝）

競技、競争がしたかった、障害を負っても何かスポーツをし、目標を持って参加していく、そして自らを高める（心身ともに）

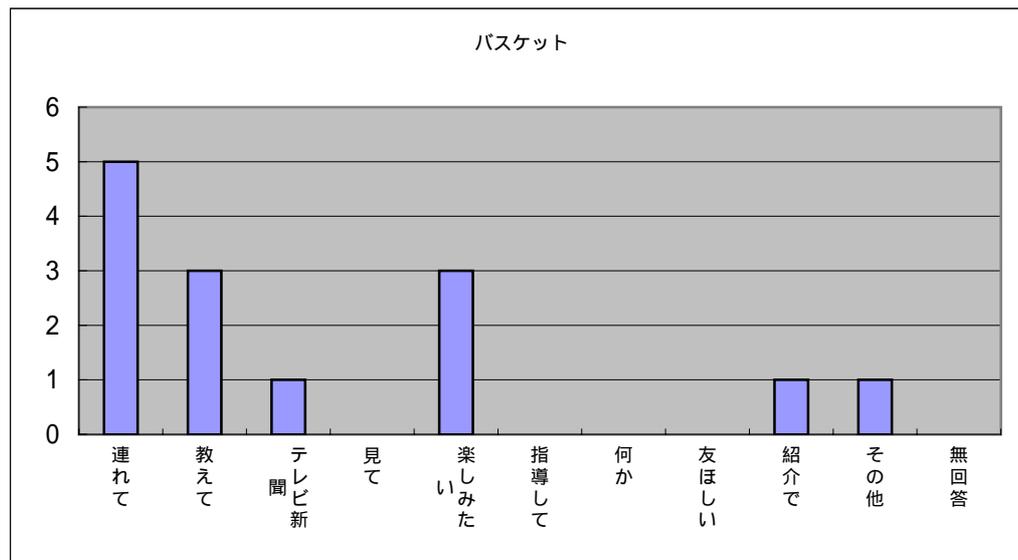
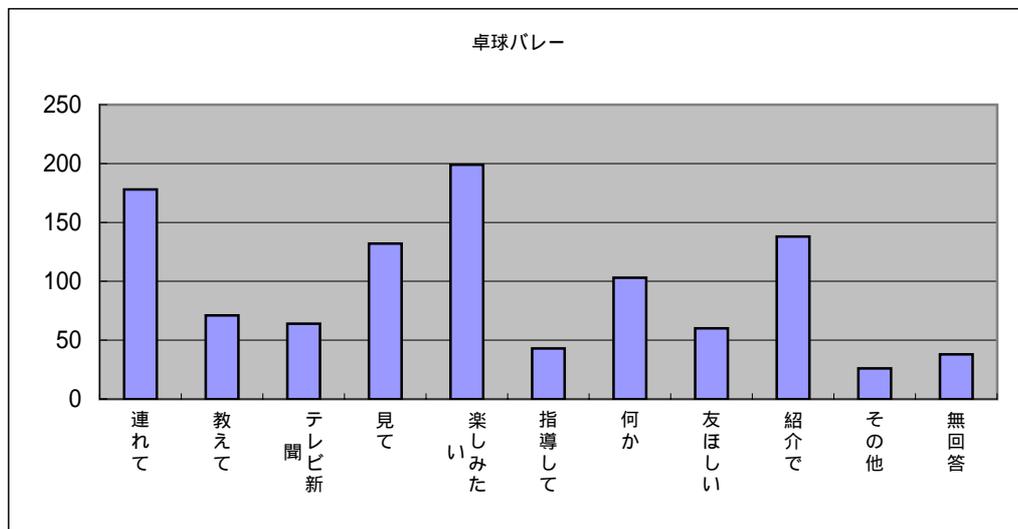
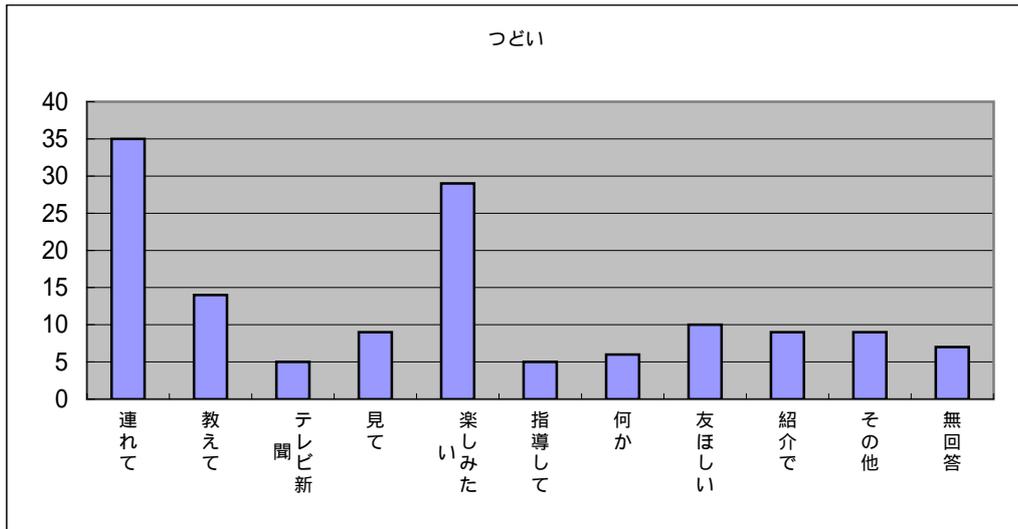
（シンクロ）

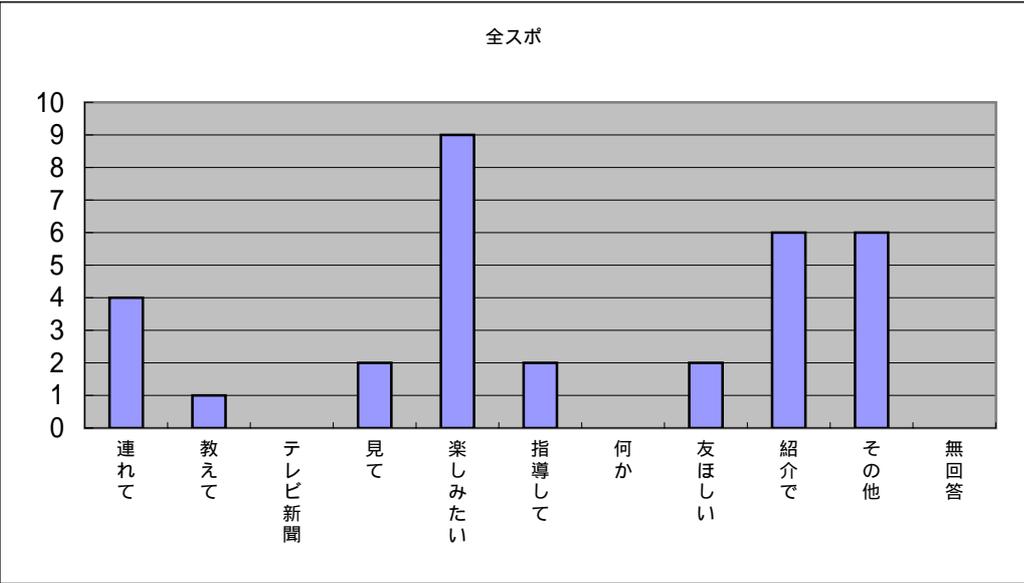
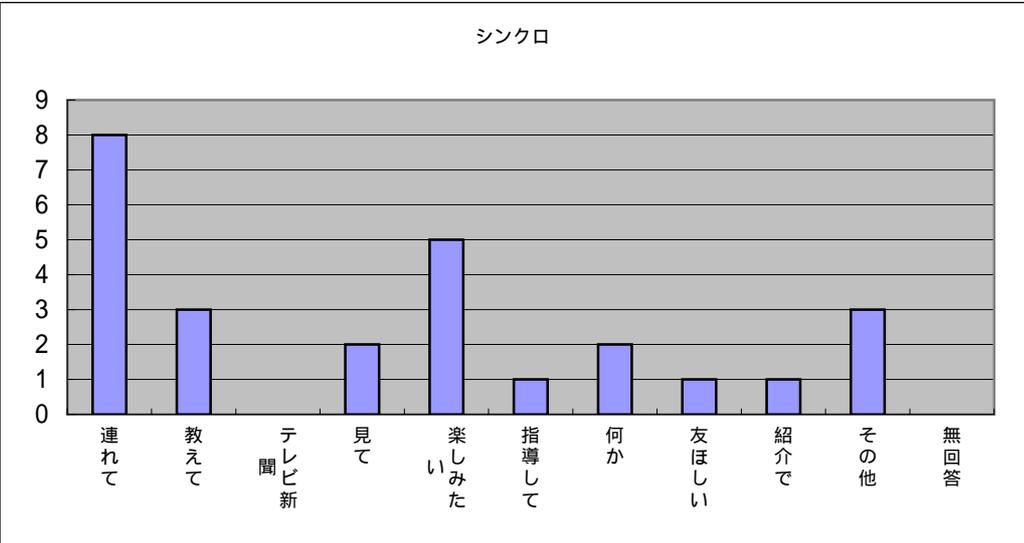
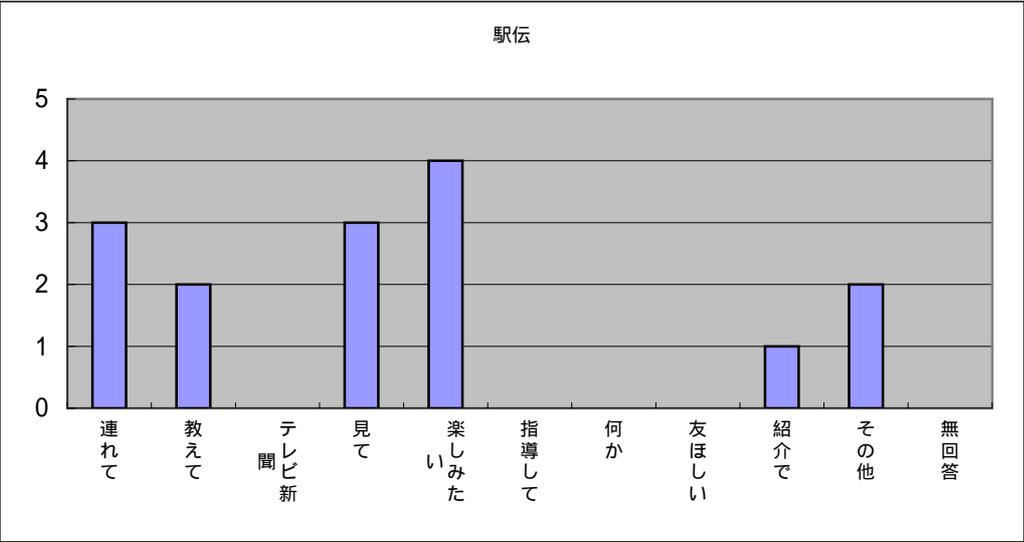
リハビリのため2、市民新聞のお知らせで知った

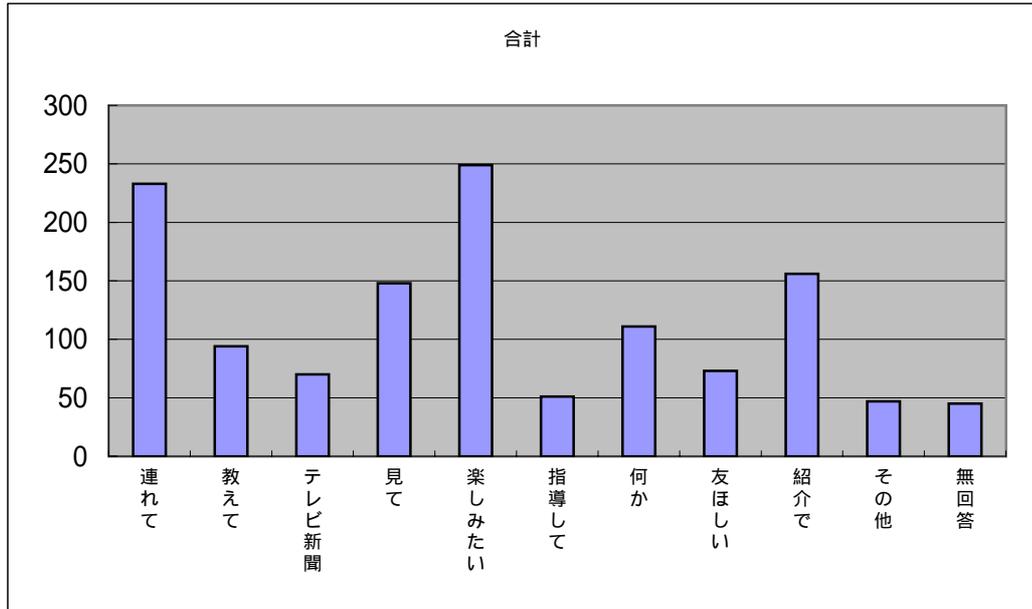
（全スゴ）

センターで指導してもらってから、昔やっていた、学校の体育の時に、足の手術のリハビリから、体力をつけるため、医師に進められた、

設問7	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スゴ		合計	
連れて	35	39.8%	178	28.9%	5	55.6%	3	33.3%	8	50.0%	4	19.0%	233	30.7%
教えて	14	15.9%	71	11.5%	3	33.3%	2	22.2%	3	18.8%	1	4.8%	94	12.4%
テレビ新聞	5	5.7%	64	10.4%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	70	9.2%
見て	9	10.2%	132	21.5%	0	0.0%	3	33.3%	2	12.5%	2	9.5%	148	19.5%
楽しみたい	29	33.0%	199	32.4%	3	33.3%	4	44.4%	5	31.3%	9	42.9%	249	32.8%
指導して	5	5.7%	43	7.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	2	9.5%	51	6.7%
何か	6	6.8%	103	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	111	14.6%
友ほしい	10	11.4%	60	9.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	2	9.5%	73	9.6%
紹介で	9	10.2%	138	22.4%	1	11.1%	1	11.1%	1	6.3%	6	28.6%	156	20.6%
その他	9	10.2%	26	4.2%	1	11.1%	2	22.2%	3	18.8%	6	28.6%	47	6.2%
無回答	7	8.0%	38	6.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	45	5.9%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%







事実

- 1 : つどいでは 連れてが40%、次いで スポーツを楽しみたいが33%、 教えてが16%、 友人がほしかった11%。
- 2 : 卓球バレーは スポーツを楽しみたいが32%、次い 連れてが29%、 学校・作業所・病院で紹介22%、 障害者スポーツを見て21%。
- 3 : バスケットは 連れてが56%、次いで スポーツを楽しみたいが33%、 教えて33%。
- 4 : 駅伝は スポーツを楽しみたいが44%、次いで 連れてが33%、 障害者スポーツを見て33%。
- 5 : シンクロは 連れてが50%、次いで スポーツを楽しみたいが31%、 教えてが19%。
- 6 : 全スポでは スポーツを楽しみたいが43%、次いで 学校・作業所・病院で紹介が29%、 連れてが19%。
- 7 : 全体では スポーツを楽しみたいが33%、次いで 連れてが31%、 学校・作業所・病院で紹介21%、 障害者スポーツを見て20%。

問7の全体を通して

- 1 . スポーツを楽しみたいと思ってという自ら動いた人も多い33%が、家族・友人に連れてきてもらって31%、学校・作業所・病院で紹介してもらって21%という方も多いので周りの人の働きかけは大事であろう。

8. スポーツをしてよかったことは何ですか。 (いくつ答えてもらってもいいです)

- やっていて楽しい。
- 人といっしょにやっで楽しい。
- 練習すれば記録が伸びたり、演技が上手になった。
- 障害のある友人ができた。
- ボランティアの友人ができた。
- 生き方が変わった(何でもやってみようという気持ちになったなど)。
- 健康になった。
- 明るくなった。
- その他 ()

その他

(つどい)

気分転換できる

(卓球バレー)

沢山のひと知り合うことができた 1、機会があればボランティア側になれば1、健常者と障害者がともにスポーツができてうれしく思う 1、リハビリ、商品がもらえてうれしかった 2、意欲が出てきた 1

(駅伝)

社会参加の実現、いろんな所に出かけ、多くの人や風物に出会えて視野が広まった

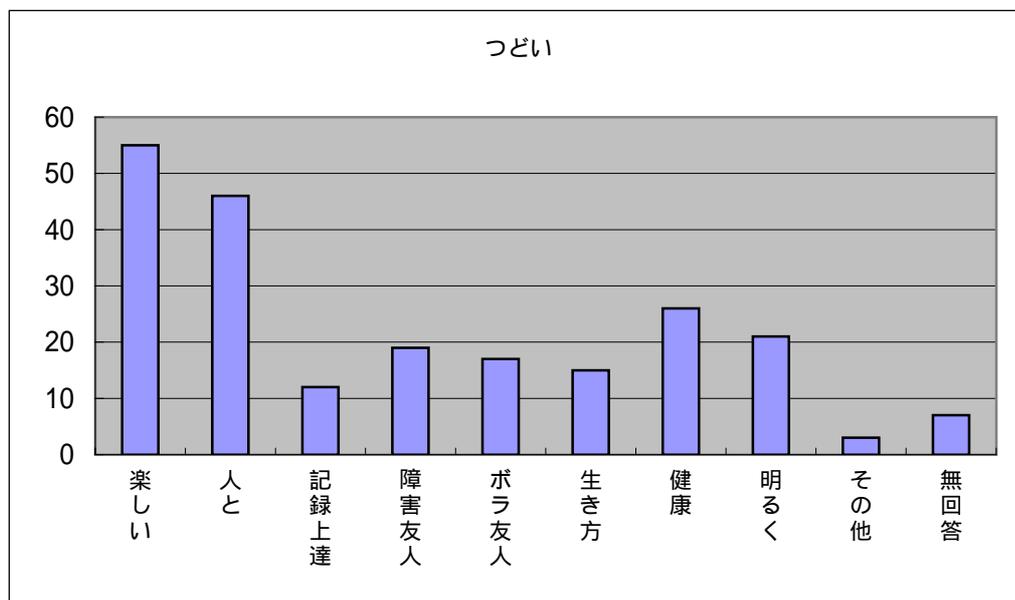
(シンクロ)

出かける場所が増えた

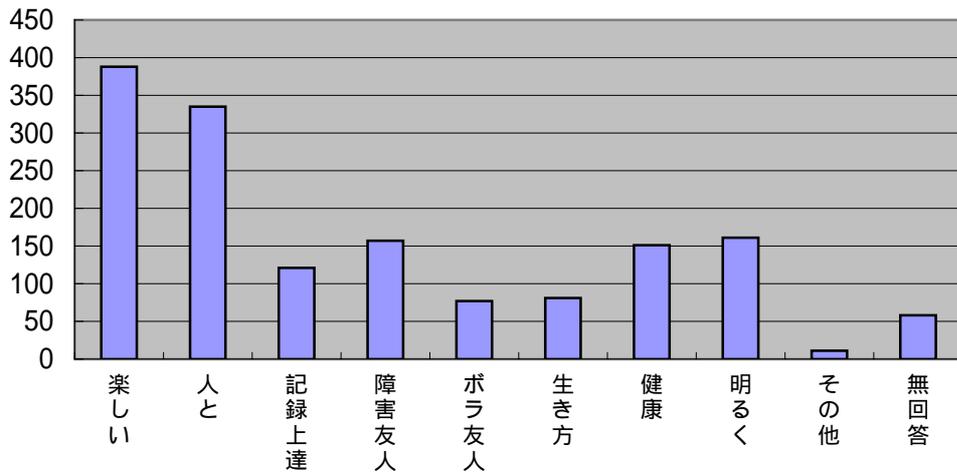
(全スボ)

病気と闘うパワーができて毎日楽しくなった

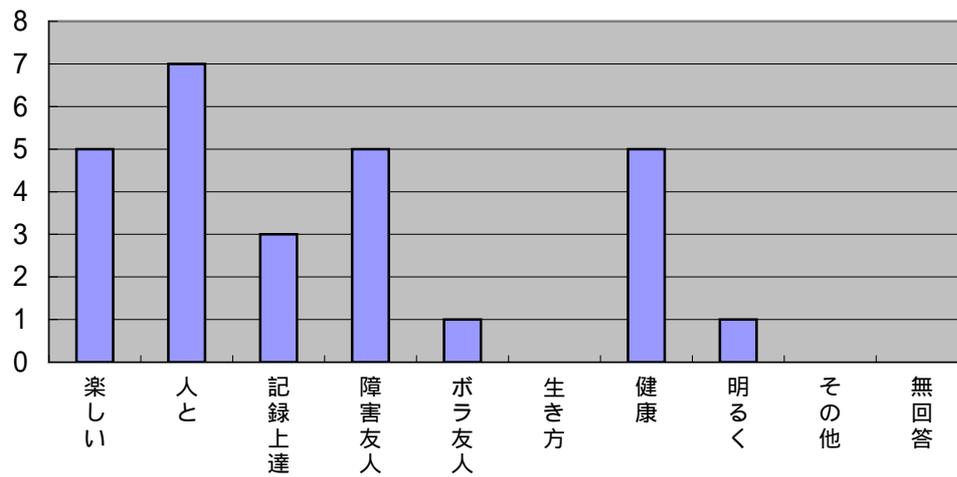
設問8	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スボ		合計	
楽しい	55	62.5%	388	63.1%	5	55.6%	5	55.6%	12	75.0%	13	61.9%	478	63.1%
人と	46	52.3%	335	54.5%	7	77.8%	4	44.4%	11	68.8%	10	47.6%	413	54.5%
記録上達	12	13.6%	121	19.7%	3	33.3%	6	66.7%	7	43.8%	8	38.1%	157	20.7%
障害友人	19	21.6%	157	25.5%	5	55.6%	0	0.0%	9	56.3%	8	38.1%	198	26.1%
ボラ友人	17	19.3%	77	12.5%	1	11.1%	0	0.0%	7	43.8%	7	33.3%	109	14.4%
生き方	15	17.0%	81	13.2%	0	0.0%	2	22.2%	8	50.0%	2	9.5%	108	14.2%
健康	26	29.5%	151	24.6%	5	55.6%	1	11.1%	8	50.0%	7	33.3%	198	26.1%
明るく	21	23.9%	161	26.2%	1	11.1%	1	11.1%	7	43.8%	5	23.8%	196	25.9%
その他	3	3.4%	11	1.8%	0	0.0%	1	11.1%	1	6.3%	4	19.0%	20	2.6%
無回答	7	8.0%	58	9.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	65	8.6%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%



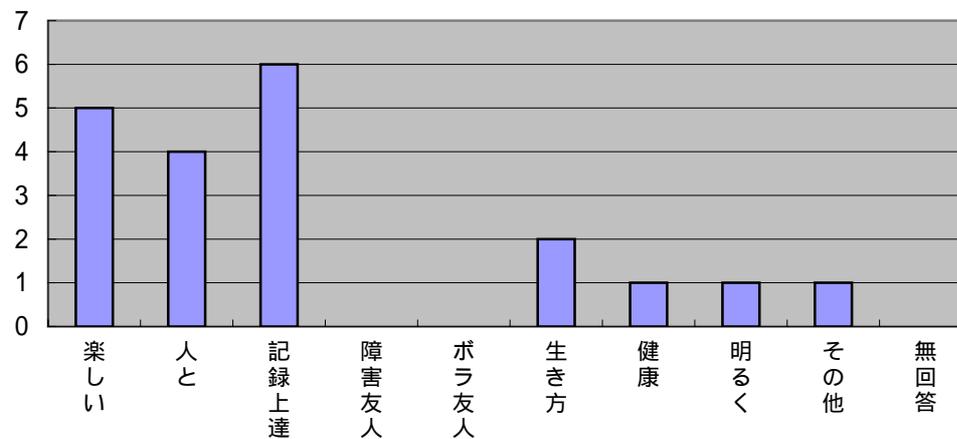
卓球バレー

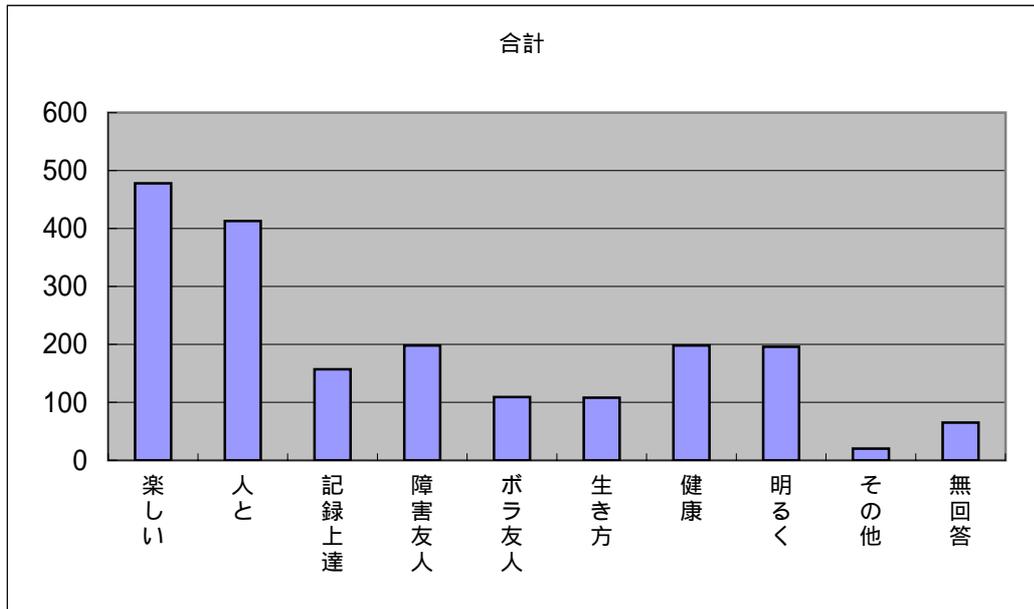
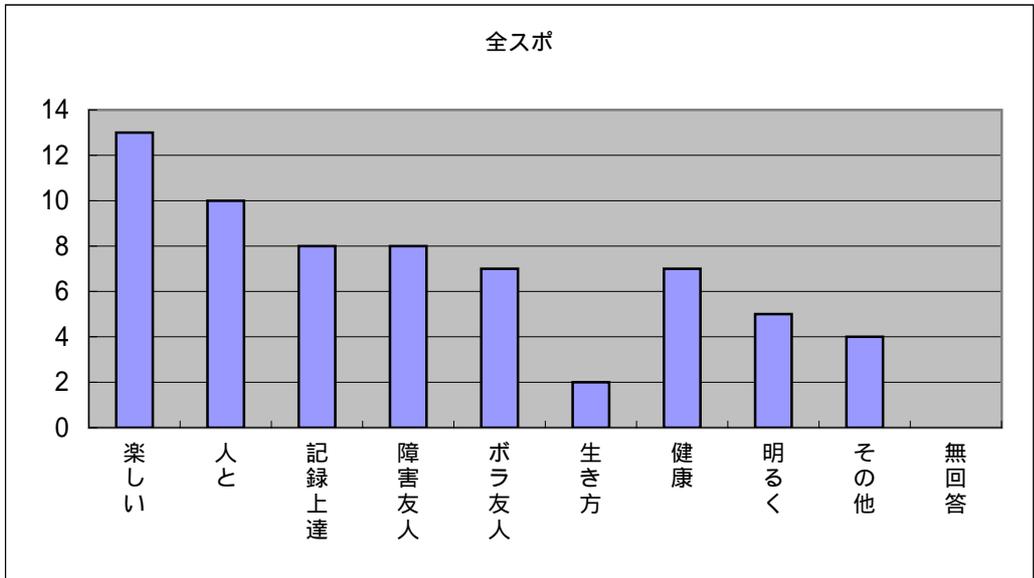
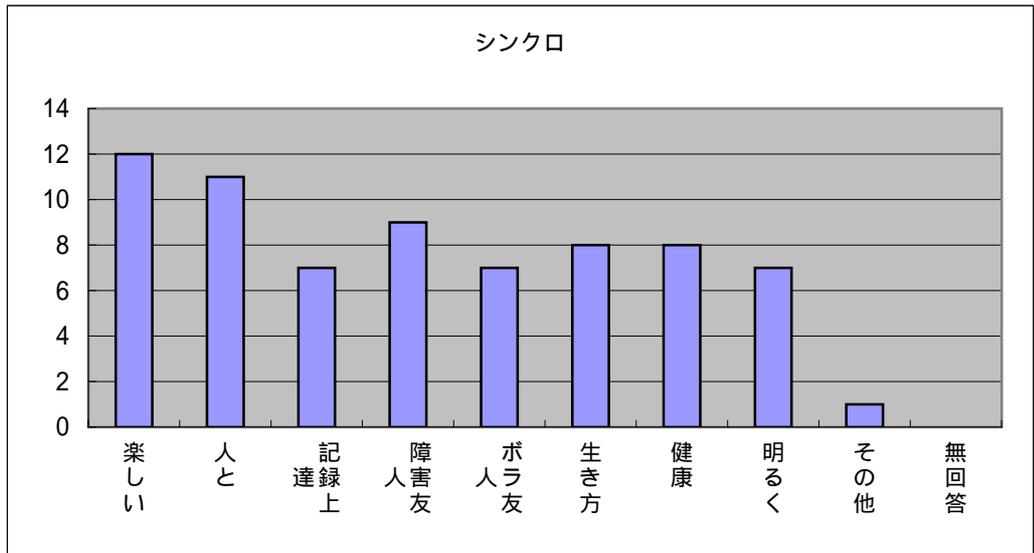


バスケット



駅伝





事実

- 1 : つどいでは 楽しい63% 人と52% 健康30% 明るく24% 障害者友人22%
ボラ友人19%
- 2 : 卓球バレーでは 楽しい63% 人と45% 明るく26% 障害者友人26% 健康24%
記録上達20%
- 3 : バスケットは 人と78% 楽しい56% 障害者友人56% 健康56% 記録上達33%
- 4 : 駅伝は 記録上達67% 楽しい56% 人と44%
- 5 : シンクロは 楽しい75% 人と69% 障害者友人56% 生き方50% 健康50%、全
部に をつけている人が7人(半数近くいた)
- 6 : 全スポは 楽しい62% 人と48% 記録上達38% 障害者友人38% ボラ友人33%
健康33%
- 7 : 全体的には 楽しい63% 人と54% 健康26% 障害者友人26% 明るく26% 記
録上達21%

問8の全体を通して

- 1 . 全体的には、スポーツそのものの魅力や人とかかわる喜びを感じてスポーツされる人が
多いようである。
- 2 . 駅伝は、記録を目指す方が多く競技性の高いスポーツといえるのではないだろうか。

9. これからどんなスポーツをしてみたいですか。（いくつ答えてもらってもいいです）

いろいろなスポーツ（障害者スポーツのつどい等のもの） 卓球バレー
 卓球 水泳 陸上競技 アーチェリー
 シンクロイストスイミング 車いすハンドボール 車いす駅伝（車いすマラソンを含む）
 ゴールボール ボッチャ ボウリング フライングディスク
 バスケット バレーボール（シッティングバレーを含む）
 マラソン カヌー テニス スキー
 その他（ ）

その他
 （つどい）

ボクシング、ジョギング、バドミントン、風船バレー、サッカー、トランポリン、ソフトボール、スケート、スカイダイビング

（卓球バレー）

グランドゴルフ19、ゲートボール3、サッカー4、野球3、ゲートボール3、車いすダンス3、スキューバーダイビング2、風船バレー2、ペタンク2、ソフトボール4、車いすサッカー1、みんなでウォーキング1、バドミントン1、ソフトボール1、バターゴルフ1、手に障害が有ってもできるもの1、卓球バレー以外できない1、特になし3

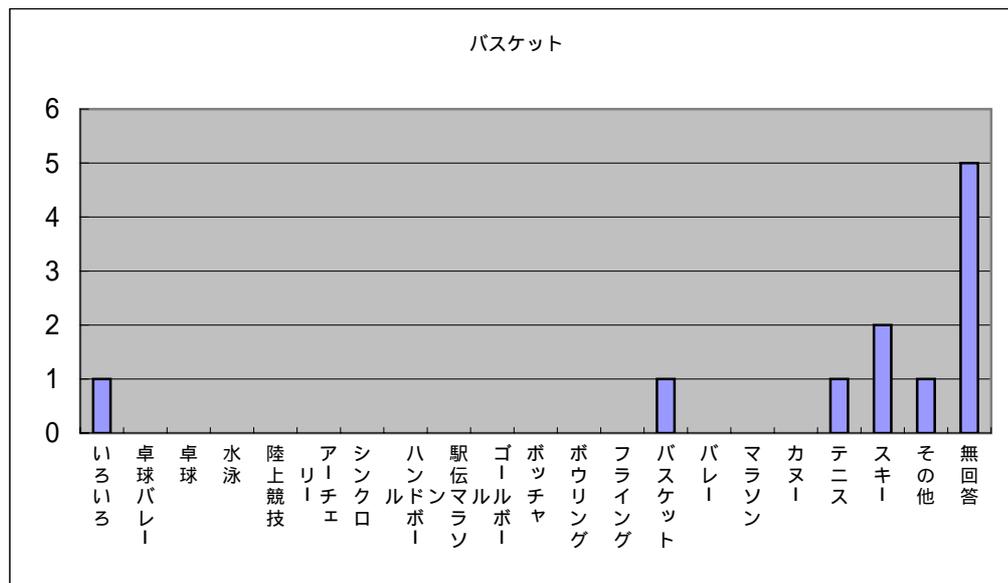
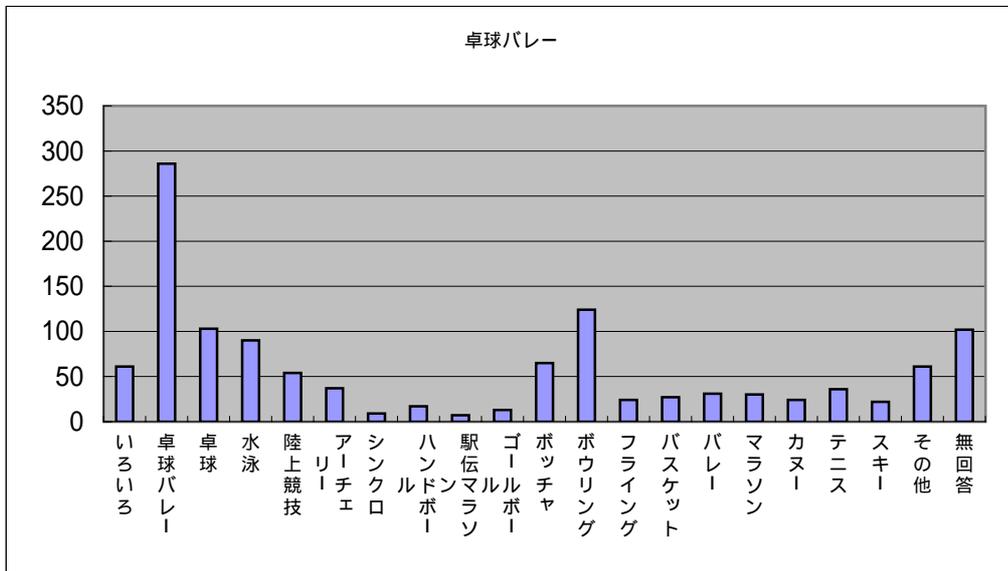
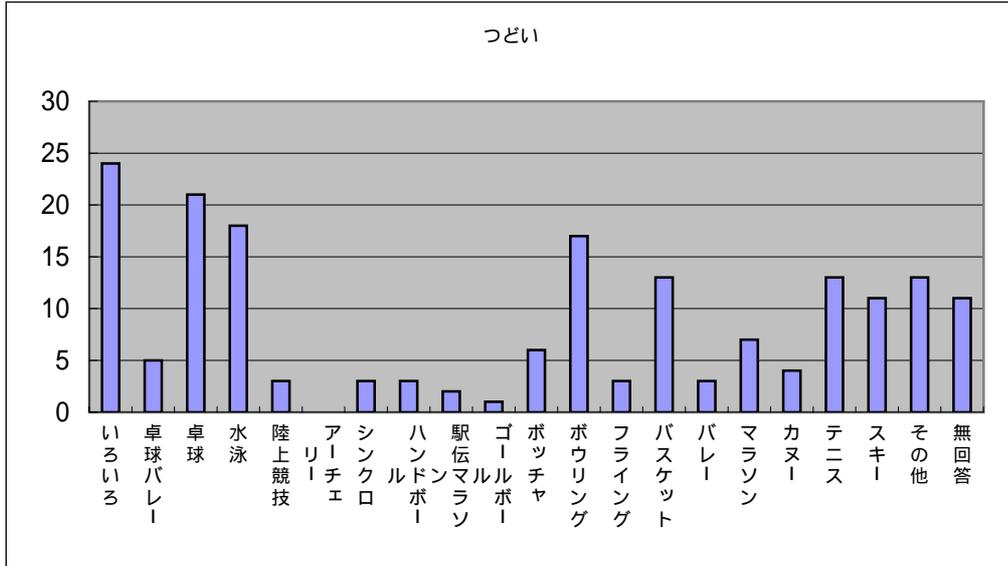
（バスケット）

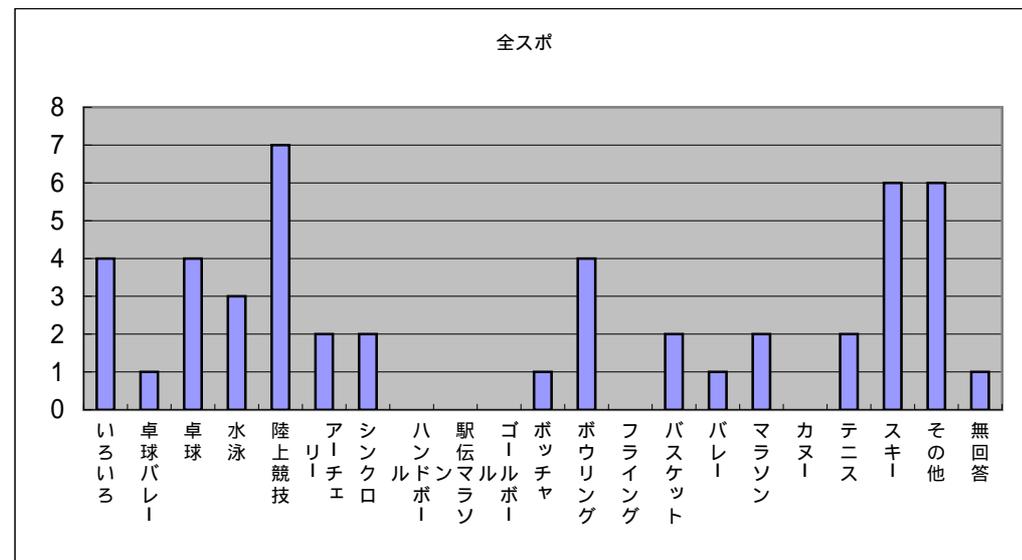
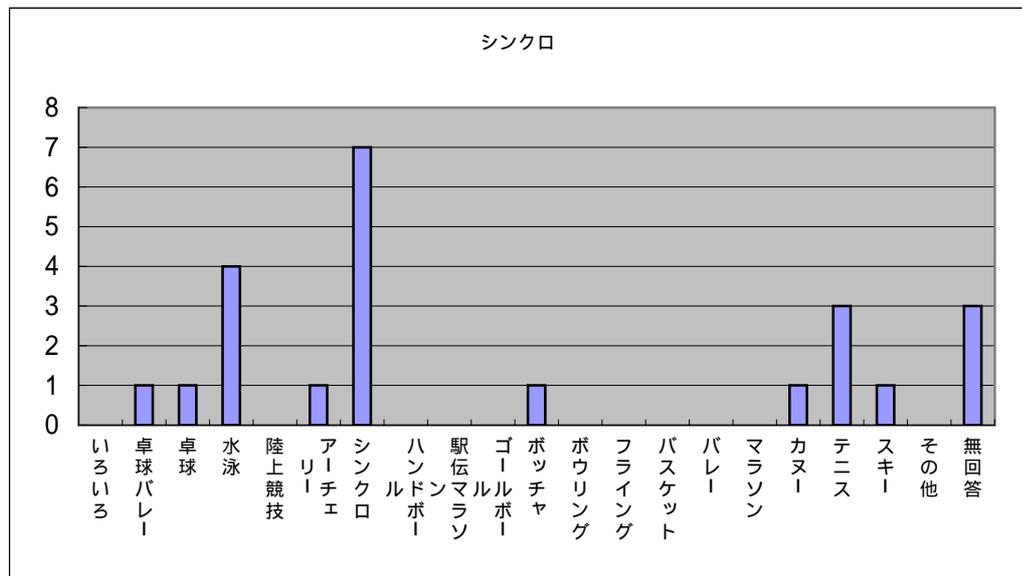
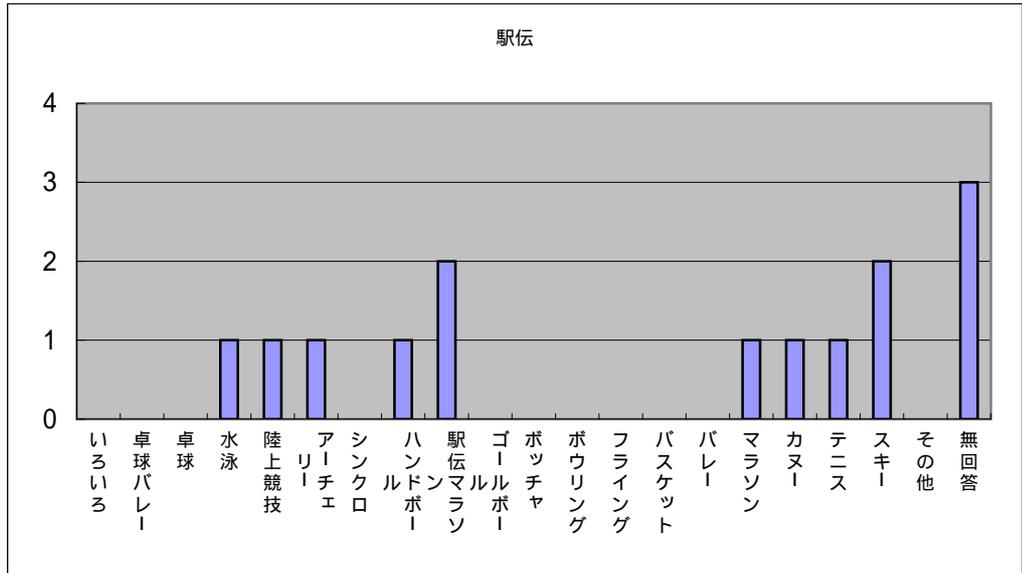
種目を増やす予定なし

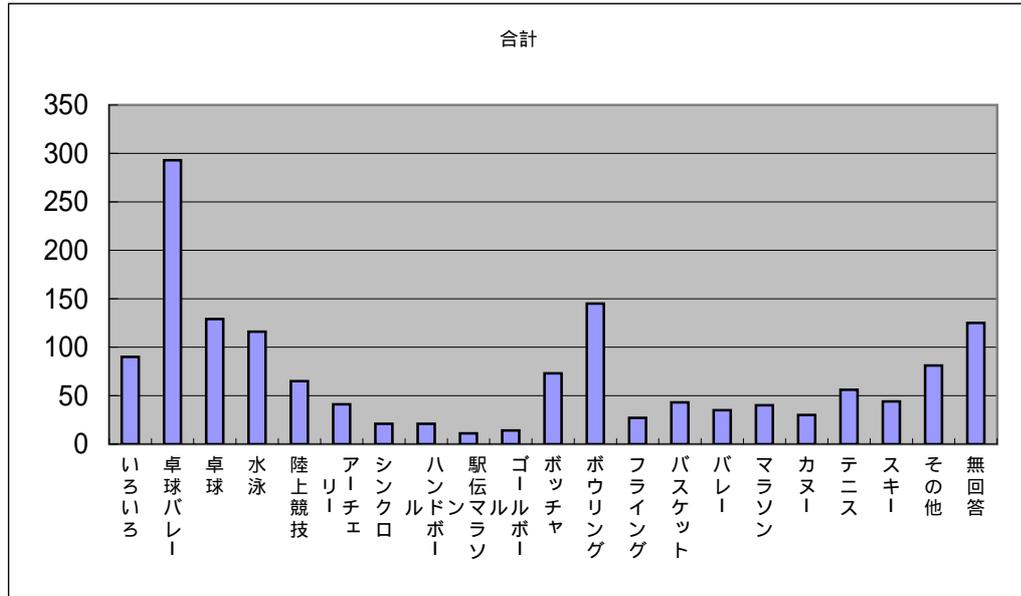
（全スポ）

山登り、グランドゴルフ、サッカー、槍投げ、円盤投げ、ボブスレー

設問9	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
いろいろ	24	27.3%	61	9.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%	90	11.9%
卓球バレー	5	5.7%	286	46.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	1	4.8%	293	38.7%
卓球	21	23.9%	103	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	4	19.0%	129	17.0%
水泳	18	20.5%	90	14.6%	0	0.0%	1	11.1%	4	25.0%	3	14.3%	116	15.3%
陸上競技	3	3.4%	54	8.8%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	7	33.3%	65	8.6%
アーチェリー	0	0.0%	37	6.0%	0	0.0%	1	11.1%	1	6.3%	2	9.5%	41	5.4%
シンクロ	3	3.4%	9	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	43.8%	2	9.5%	21	2.8%
ハンド	3	3.4%	17	2.8%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	21	2.8%
駅伝マラソン	2	2.3%	7	1.1%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	11	1.5%
ゴールボール	1	1.1%	13	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	1.8%
ボッチャ	6	6.8%	65	10.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	1	4.8%	73	9.6%
ボウリング	17	19.3%	124	20.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%	145	19.1%
フライング	3	3.4%	24	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	27	3.6%
バスケット	13	14.8%	27	4.4%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	43	5.7%
バレーボール	3	3.4%	31	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	35	4.6%
マラソン	7	8.0%	30	4.9%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	2	9.5%	40	5.3%
カヌー	4	4.5%	24	3.9%	0	0.0%	1	11.1%	1	6.3%	0	0.0%	30	4.0%
テニス	13	14.8%	36	5.9%	1	11.1%	1	11.1%	3	18.8%	2	9.5%	56	7.4%
スキー	11	12.5%	22	3.6%	2	22.2%	2	22.2%	1	6.3%	6	28.6%	44	5.8%
その他	13	14.8%	61	9.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	28.6%	81	10.7%
無回答	11	12.5%	102	16.6%	5	55.6%	3	33.3%	3	18.8%	1	4.8%	125	16.5%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%







事実

- 1 : つどいは いろいろ 卓球 水泳 ボウリング バスケット テニス
- 2 : 卓球バレーは 卓球バレー ボウリング 卓球 水泳 ボッチャ いろいろ 陸上競技
- 3 : バスケット・駅伝は スキー他で特になし。
- 4 : シンクロは シンクロ 水泳
- 5 : 全スポは 陸上競技 スキー ボウリング いろいろ 卓球
- 6 : 全体的に 卓球バレー ボウリング 卓球 水泳 いろいろ

問9の全体を通して

- 1 . ほとんどの人は、今しているスポーツを続けたいと考えておられる。
- 2 . ボウリング・水泳・卓球などは多くの方がやってみたいスポーツである。
- 3 . 69人がその他の中にアンケートで用意した19種目以外のスポーツを挙げておられた。これは新しいことへのチャレンジ精神も旺盛な人も多いと考えられるのではないだろうか。

10. 障害者スポーツをもっと楽しむために大切にしてほしいことは何ですか。
(いくつ答えてもらってもいいです)

- 歩いて10分くらいの所にスポーツできる場所をつくってほしい。
- 歩いて10分くらいの所でいっしょにスポーツする友人がほしい。
- 歩いて10分くらいの所でスポーツを教えてくれるスタッフがほしい。
- スポーツできるところまで連れていってくれるスタッフがほしい。
- うまくなるやり方を教えてくれるスタッフをもっとほしい。
- どこでどんなスポーツができるか知らせてほしい。
- 私にもできるスポーツをつくってほしい。
- 障害のない人とともにできるスポーツをつくってほしい。
- 同じ種目をする友人が増えてほしい。
- 今ある大会やつどいなどの中味をもっとよくしてほしい。
- 京都の選手が強くなることをささえてほしい。
- その他 ()

その他
(つどい)

アーチェリーができる場所をもっと増やしてほしい。毎回同じ種目でなくいろいろなものを増やしてほしい。専門的な指導技術の有るスタッフを作してほしい。施設内の仲間とスポーツを楽しみたい。のんびりやりたい。もっとつどいの回数を増やしてほしい。

(卓球バレー)

テレビで放送を。勝敗だけでなく楽しめるスポーツを。誰もが楽しんで参加できるスポーツを考えてください。エントリー料金が健常者より高い。年に一度や二度のスポーツでは意味がない。毎日続けられることが条件。散歩が一番。卓球バレー大会はなるだけ知的障害者グループと対戦させてほしい。自分で作っていくべきだ。特になし。記入なし。

(バスケット)

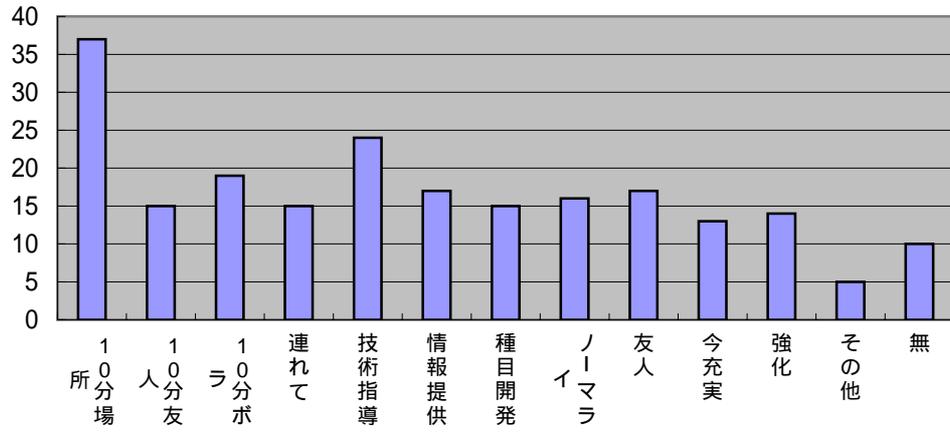
市内に障害者が利用できる合宿所が必要

(駅伝)

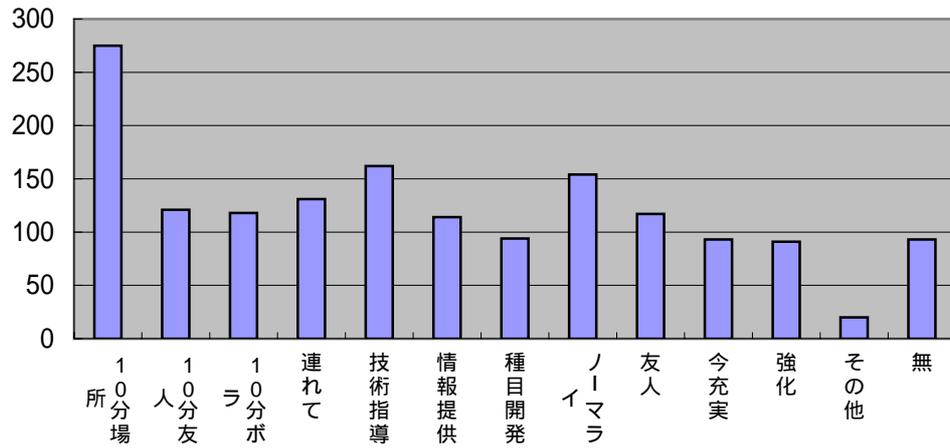
マラソン練習コースが必要。トラックのフリー活用。専門性を持ったスタッフの育成。

設問10	つどい		卓バレ		バスケット		駅伝		シンクロ		全スポ		合計	
10分場所	37	42.0%	275	44.7%	4	44.4%	6	66.7%	9	56.3%	10	47.6%	341	45.0%
10分友人	15	17.0%	121	19.7%	1	11.1%	0	0.0%	3	18.8%	4	19.0%	144	19.0%
10分ボラ	19	21.6%	118	19.2%	1	11.1%	3	33.3%	2	12.5%	7	33.3%	150	19.8%
連れて	15	17.0%	131	21.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	25.0%	3	14.3%	153	20.2%
技術指導	24	27.3%	162	26.3%	8	88.9%	2	22.2%	5	31.3%	10	47.6%	211	27.8%
情報提供	17	19.3%	114	18.5%	2	22.2%	0	0.0%	2	12.5%	12	57.1%	147	19.4%
種目開発	15	17.0%	94	15.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	4	19.0%	114	15.0%
ノーマイ	16	18.2%	154	25.0%	2	22.2%	1	11.1%	2	12.5%	8	38.1%	183	24.1%
友人	17	19.3%	117	19.0%	4	44.4%	1	11.1%	3	18.8%	7	33.3%	149	19.7%
今充実	13	14.8%	93	15.1%	3	33.3%	0	0.0%	1	6.3%	6	28.6%	116	15.3%
強化	14	15.9%	91	14.8%	5	55.6%	1	11.1%	6	37.5%	9	42.9%	126	16.6%
その他	5	5.7%	20	3.3%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	26	3.4%
無	10	11.4%	93	15.1%	0	0.0%	1	11.1%	1	6.3%	0	0.0%	105	13.9%
合計	88	100.0%	615	100.0%	9	100.0%	9	100.0%	16	100.0%	21	100.0%	758	100.0%

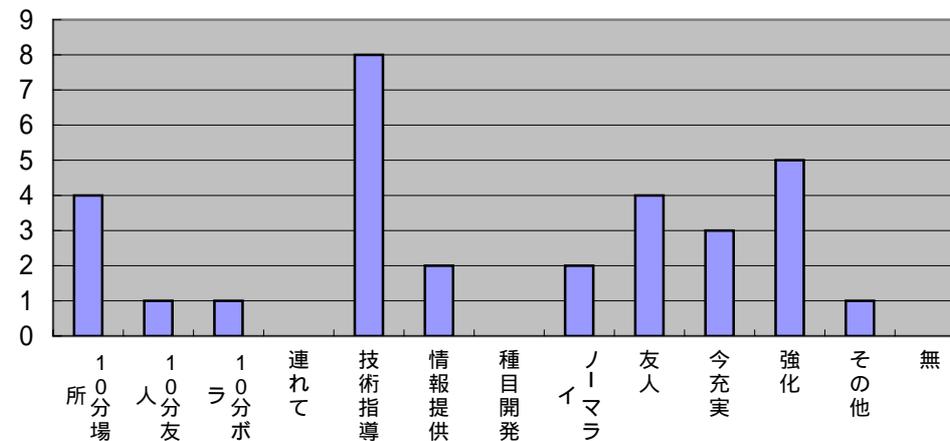
つどい

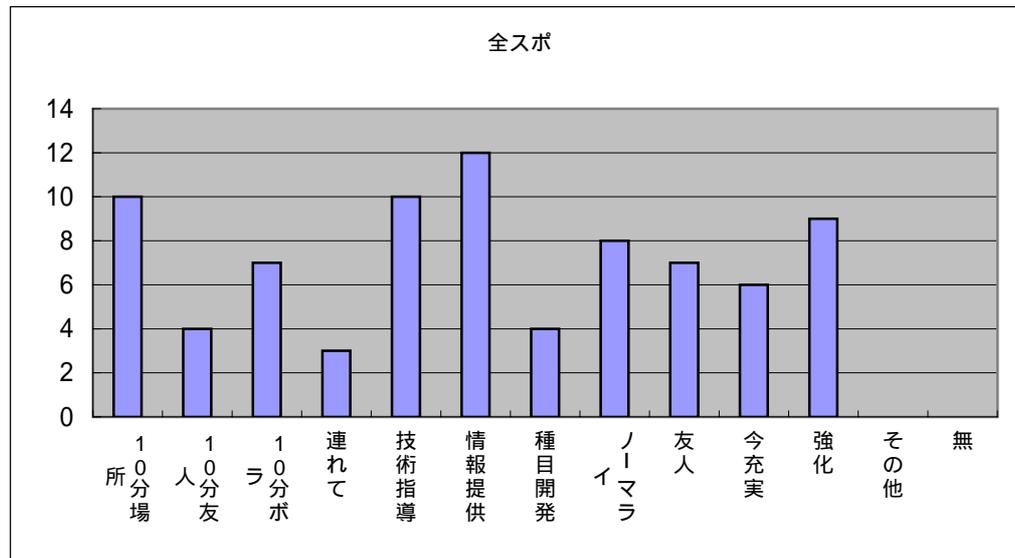
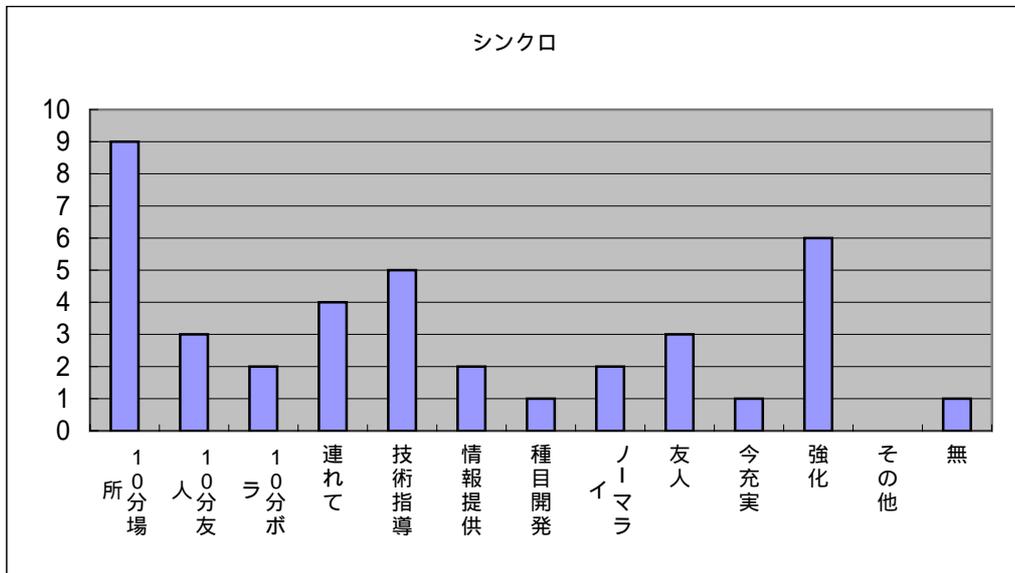
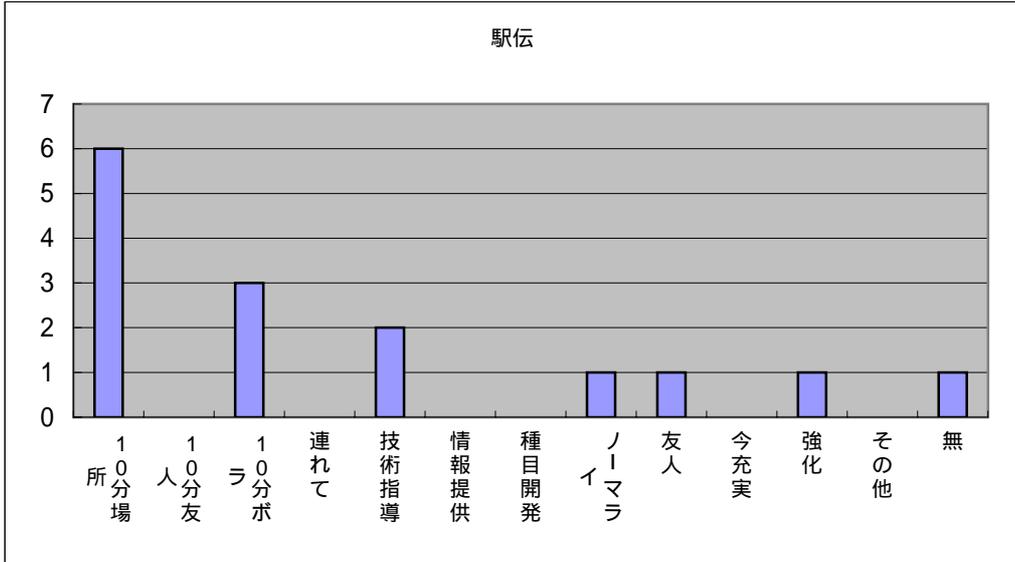


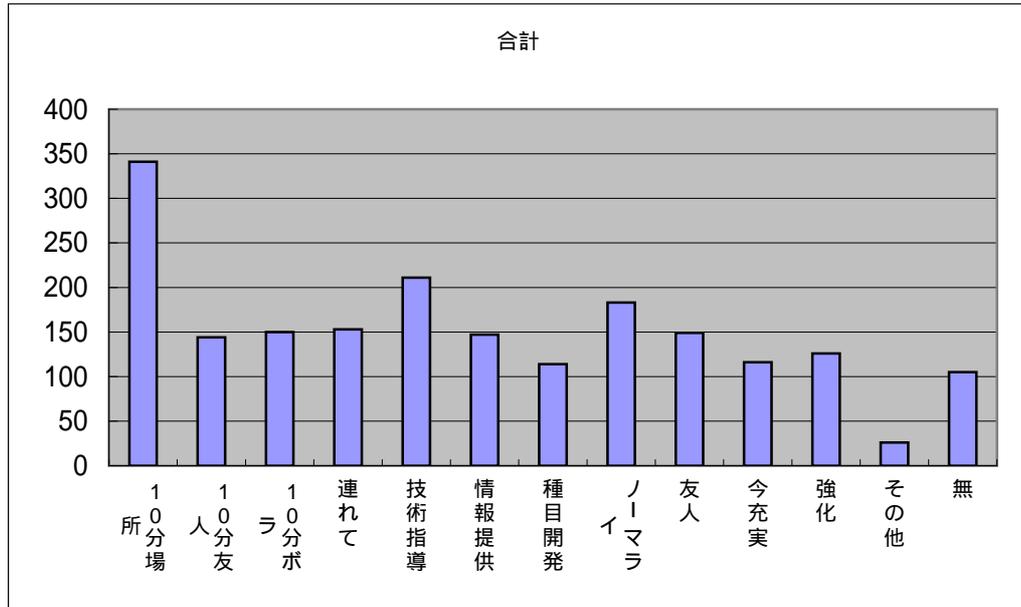
卓球バレー



バスケット







事実

- 1 : つどい 10場所42% 技術指導27% 10ボラ22% 情報19% 友人19%
- 2 : 卓球バレー 10場所39% 技術指導23% ノーマライ22% 連れて18% 友人17% 情報16% 10ボラ16% 10友人15%
- 3 : バスケット 技術指導89% 強化56% 10場所44% 友人44%
- 4 : 駅伝 10場所67% 10ボラ33% 技術指導22%
- 5 : シンクロ 10場所56% 強化38% 技術指導31% 連れて25%
- 6 : 全スポ 情報57% 10場所48% 技術指導48% 強化43% ノーマライ38% 10ボラ33% 友人33%
- 7 : 全体的に 10場所40% 技術指導25% ノーマライ22% 友人18% 連れて17% 情報17% 10ボラ17%

問10の全体を通して

1. バスケット選手の89%が「技術指導をしてほしい。」と考えておられる以外はほとんどの種目の選手が「歩いて十分くらいのところにスポーツできる場所を作ってほしい。」と考えておられる。やはり健常者よりも移動の難しさがあることもあってであろうか、身近にスポーツのできる場所を(40%)と考えておられるようだ。
2. 全体を通して技術指導(25%)を望んでおられる人が多いことも見逃してはならない事実であろう。技術指導を望んでおられる人には、今しているスポーツをより楽しむためにうまくなりたいと考える人と、大会出場・記録更新を目指している人がいると考えられる。
3. 障害のない人と共にできるスポーツを創ってほしい人が多いのは障害のない人と関わってスポーツをしたいという希望を持つ人が多いからだと考えられる。
4. 情報提供を望む人が多いのはまだまだ情報が少ないからだと考えられる。

アンケートからわかる障害者スポーツの課題

- 1 . 高齢の障害者にスポーツの機会を大切にすることに引き続き力を入れること。
- 2 . 幅広い年齢層の障害者にスポーツを楽しむ機会を増やすことに引き続き力を入れること。
- 3 . 卓球バレーのサークルやクラブチームを作って身近な施設（たとえば小学校など）を使って週1回など定期的に楽しむ日を作ること。
- 4 . 卓球バレーの地方大会をその地域のスポーツ施設の協力のもと開催すること。
- 5 . 知的障害者や精神障害者が楽しみやすいスポーツ場面（つどいなど）を増やすこと。また、そのサポートとなるボランティアを増やすこと。
- 6 . 障害のある人がスポーツをはじめするには、身近にいる家族友人の紹介、また、暮らし・学び・働き・リハビリに励む場である学校病院作業所の職員の紹介が大切であることを改めて理解すること。また、積極的に情報を提供すること。
- 7 . 身近な場所にスポーツできる施設を増やしたり、すでにある施設を利用しやすいように改良するように提言すること。
- 8 . 技術指導を望んでおられる利用者のニーズにこたえる方法の検討をすること。
- 9 . 平日スポーツを楽しむ利用者のニーズにこたえる方法の検討をすること。
- 10 . ボッチャの普及に注目し取り組むことの検討をすること。
- 11 . アンケートの数値の持つ意味について数年の見通しの検討をすること。
- 12 . 地域別の集約は、項目に盛り込まなかったため今回はできなかったが、今後情報としても分析の視点としても必要になってくるだろう。
- 13 . 年齢別・障害別の集約については今回はしないが、情報としても分析の視点としても必要になってくるだろう。